

社協

かかみがはら



大人から学ぶ 子どもを通じて学ぶ

那加一地区社協では、地域の大人が先生となり福祉体験学習を行いました。大人も子どもも、この行事を通じて福祉について学ぶとともに、世代間の交流を深めることができました。

2018
July
No.174

目次

- ①～② 平成29年度 事業報告・決算報告
- ③ 活躍の場・役割があることが生きがいにつながる
- ④ 近隣ケアグループ活動
- ⑤ 応援しています！「ふくし」を考える「福祉教育」ボランティアハウス紹介
- ⑥ 点訳・音訳ボランティア養成講座 受講生募集
- ⑦ フェスティバル2018開催のお知らせ・職員募集

平成29年度 各務原市社会福祉協議会

事業報告

各務原市社会福祉協議会では「ささえと ささえられて みんなが主役のまちづくり」を目指す姿とした第3期地域福祉活動計画の基本目標に基づいた重点事業を中心に、地域力を活かしてあらゆる生活課題の解決に向けた地域づくりを展開しました。

重点事業① 総合相談窓口の充実

「生活相談センターさぼーと」窓口での相談受付や、身近な場所で相談が受けられるよう出張相談を行いました。

- ・相談件数 3,911件
- ・実相談者数 336名

重点事業② 社協活動のPR

福祉の情報をわかりやすく市民に伝えました。

- ・広報「社協かかみがはら」の発行(年4回)
- ・わたしのお福わけ事業、お福わけ本の製作

(作品投稿数 124件)

- ・共同募金百貨店プロジェクトの推進 (協力店 4事業所)



生活相談センターさぼーとでの相談風景



各務原市社会福祉協議会ホームページ
<http://kakamigahara-shakyo.jp/>

重点事業③ 近隣ケアグループ活動の支援

ご近所さんならではの声かけと見守り活動をおして、地域のささえあい活動を進める近隣ケアグループ活動の支援を継続しました。

- ・登録団体数 303グループ
- ・参加人数 2,150名

重点事業④ ボランティアハウス事業の発展強化

地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちが閉じこもりにならないよう気軽に集まることのできるボランティアハウス事業を促進し、調整等の支援に努めました。

- ・拠点数 103カ所(新規6カ所)



近隣ケアグループによる訪問



ボランティアハウス前三なごやかサロン

重点事業⑤ 地区社協活動の支援

17地区社協において地域の実情にあわせたさまざまな地域福祉活動を展開しました。

- ・地区社協交付金 7,321,000円
- ・X二ユー事業助成金等 15,710,008円

重点事業⑥ 夢を実現プロジェクト事業の促進

企画提案型助成事業の継続支援および拡充を図りました。

- ・夢を実現プロジェクト事業 3地区
- ・小地域で行う夢を実現プロジェクト事業 5地区(新規2地区)

- ・事業助成金総額 3,114,133円



那加二東部地区社協健康増進教室



小さな手助け活動 草刈りの様子(新鵜沼台自治会)



ファミリー・サポート・センター事業



ケアマネジャーによるケアプラン作成

重点事業⑦

子育て事業の推進

ファミリー・サポート・センター事業では、産後お助け事業や交流会を開催するなど子育て支援の推進を図りました。

- ・コーディネーター実績 410件
- ・登録者数 414名(新規122名)

重点事業⑧

介護保険法・障害者総合支援法に基づく支援

要介護認定の高齢者や障がい者の在宅生活を支援するためのケアプラン作成やホームヘルプサービス事業、訪問入浴サービス事業を行いました。

- ・ケアプラン作成件数 2,434件
- ・ホームヘルプサービス提供実績 延べ1,992名

重点事業⑨

法人組織の整備強化

社会福祉法人改革の初年度として、新たな組織体制で、経営組織のガバナンス強化・事業の透明性の向上・財務規律の強化を図りました。

- ・理事会(年6回)、評議員会(年4回)の開催、評議員選任・解任委員会の開催(年2回)

重点事業⑩

公益を目的とする事業の推進

誰もが安心して暮らし続けられるように介護予防・総合相談などの事業に取り組みました。
 ・地域包括支援センター事業の受託
 ・法人後見事業の実施

重点事業⑪

福祉教育の推進

福祉の現場で障がいとお年寄りについて学び、各務原市寺子屋事業「福祉体験学習」を受託し、福祉教育の推進を図りました。また、新たに中学生コースを設け、将来の職業として福祉の仕事に関心を持ってもらう機会としました。
 (4日間実施) 参加者 延べ79名

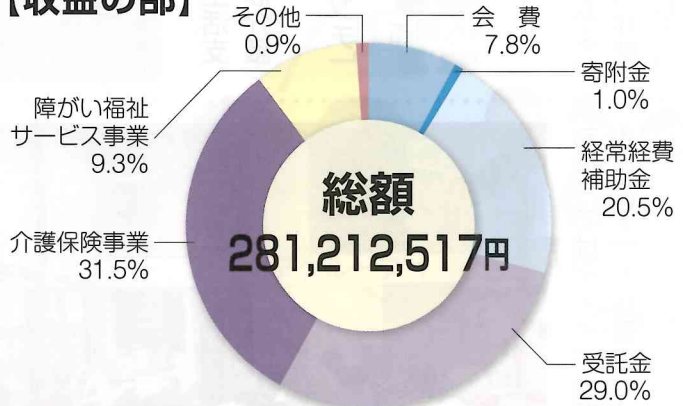
重点事業⑫

権利擁護事業の推進

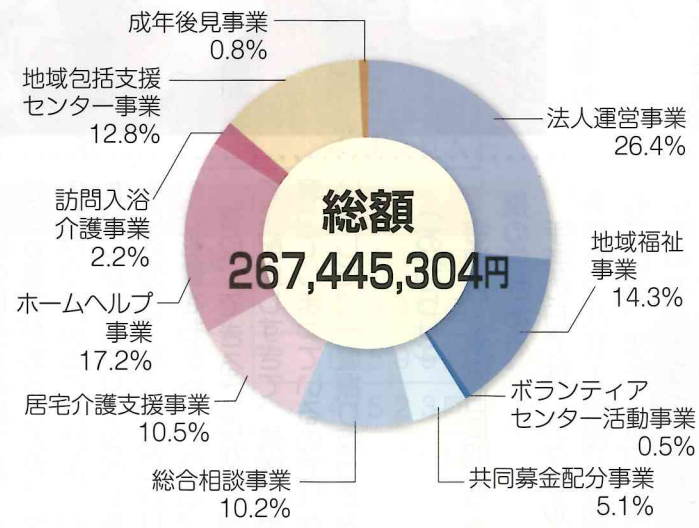
法人後見や日常生活自立支援事業により、判断能力が不十分な人が安心して生活できるよう支援を行いました。
 ・法人後見事業 1件受任(類型・後見)
 ・日常生活自立支援事業 新規7件 継続42件
 成年後見制度をより広く知っていただくために、市民を対象とした講座を開催しました。
 ・成年後見制度普及講座 参加者60名

平成29年度 各務原市社会福祉協議会一般会計決算

【収益の部】



【費用の部】



当期活動増減差額 13,767,213円

活躍の場・役割があることが 生きがいにつながる

本市では、65歳以上のすべての方を対象とした「介護予防・日常生活支援総合事業」に取り組んでいます。その中でも、高齢者の社会参加は介護予防に大きな効果があると言われています。

今回は、90才を超えても元気な有田さんが参加している「グリーンベンチ」の活動にスポットを当て、いきいきと暮らす秘訣をお聞きしました。



みくかんの花が、 咲いてるよ

元気な歌声にあわせた、リズムよい手拍子、そして笑顔を確認しあう仲間。体操や言葉遊びを行った後のレクリエーションが始まりました。

「そろそろ、お茶にしましょうか？」との声で、今までレクリエーションをしていたメンバー全てが動き始めます。いすを移動する人、テーブルを運ぶ人、コーヒーを淹れる人。皆さんテキパキと動く姿はとても若々しい。

あつという間にお茶会の会場づくりが完成し、コーヒーをいただきました。活気がある理由を尋ねました。

「この集まりには、お客さんは一人もないのです。みんな何かしらの役割を持っているのですよ。みんな準備して、みんな楽しんで、みんな運営しています。活動を続けて3年になります。当初は元気がなかった人



も、今ではイキイキと顔つきも変わりましたよ」と代表の安江さん。

「私は体操をみんなに教える役割なんや。こんな歳になっても、人の役に立てることができると、こんな嬉しいことないわ」と92才の有田さん。有田さんは、自宅においても、『みんなができる新しい体操がないか?』と常に気にするようになったとのこと。



御年92歳の有田さん
元気いっぱいです。

今回の取材で高齢になっても、活躍できる機会があることが、生きがいにつながるということがよくわかりました。しかも、グリーンベンチに参加する以外の日でも、生活にハリがでる程の好影響をもたらしている。

普段、できることがある人に対して、配慮しすぎて、活躍の場や機会を奪ってしまっているのではないかと思います。一度振り返ってみたい。

(お知らせ)

毎週月・水曜日に開催。手芸と体操の日がある。

手芸の日では、アクリルたわし等を作り、バザー収益で活動費を確保している。また、雑巾を縫い小学校に寄付するなど、役割を持ってもらい自由な発想で自主運営をしている。会場は鶴沼各務原町の福祉施設メゾンペイネの交流室。



声かけから始まる身近なボランティア

近隣ケアグループ活動

近所の声かけや見守り活動をとらして、高齢者や障がい者、お子さん方をその地域で支える取り組みです。

各務原市社会福祉協議会では、市から委託を受け、近隣ケアグループ活動の推進に取り組んでいます。近所だからこそちょっとした異変に気づくこともでき、見守られる側もすぐに声をかけてもらえる距離だからこそ安心につながります。また、緊急時や災害時にも住民同士が助けあい、早く適切に対応できることにもつながります。

近隣ケアグループの役割

1. **声かけ**
意識して声をかけることで、顔の見える関係をつくります。
2. **知らせる**
困った時は一人でかかえこまず、関係機関へ知らせます。
3. **見まもる**
気になる方を多くの目で見守ります。
4. **つなげる**
情報交換し、次の活動につなげます。

合言葉は…

「声かけて
困った時はお知らせを
見守りながらつなぐ近所」

実際の活動の様子

アイリス（蘇原駅前西）



訪問時にはハガキを持参し、声をかけながらお渡ししています。春には桜の写真を入れたり、敬老の日にはお赤飯を一緒にお渡しする等、工夫を凝らして活動しています。年末には、自治会や子ども会と合同で花餅をお配りしました。

また、グループ員で日頃の声かけや見守りを行い、多くの目で継続的な活動を行っています。

市役所高齢福祉課

地域包括支援センター

地区社協

お隣さん

民生委員

自治会長

近隣ケアグループ

気になる住民

友人

今後ますます高齢化や世帯の単身化が進むことにより、見守りが必要となる方が増えてきます。より多くの目で見守っていくことが必要とされているため、近隣ケアグループへの参加とご協力をお願いいたします。

平成29年度	
登録団体数	303グループ
参加人数	2,150人

活動内容	実施回数
見守り・声かけ活動	44,462回
簡易な援助活動	4,940回
その他の活動	6,595回
地区社協行事	4,523回
合計	60,520回

地域の皆さまに助けられて、この活動は30年目を迎えました。

応援しています！ 「ふくし」を考える「福祉教育」

盲導犬について



アイマスク体験



地域の方と車いす体験



本会では、市内の小中高等学校、特別支援学校や福祉教育を推進する企業に対して、福祉教育を推進するために、次のメニューで出前講座を行っています。

- ① ふくしって何？（講話）
- ② ボランティアについて（講話）
- ③ 車いす体験
- ④ アイマスク体験
- ⑤ 高齢者疑似体験
- ⑥ 盲導犬について（当事者のお話）
- ⑦ 介助犬について（当事者のお話）
- ⑧ 点字体験（ボランティアより）
- ⑨ 認知症について（専門家のお話）
- ⑩ その他相談に応じて

このメニューは、企業の職員研修の一環として取り入れていただくことも可能です。まずはお気軽にご相談ください。



ふくしって何？



当事者のお話



企業の職員研修（高齢者疑似体験）

2017年からの 新規ボランティアハウスを紹介します

ささえあいの家

【八木山地区】

三世代にわたるふれあい交流や、相談事業等を行う地域の拠点です。囲碁将棋やフットケア、食事会などさまざまな活動をとおして交流しています。

また、認知症茶話会や認知症予防、介護予防の取り組みも行っています。



ささえあいの家

だいじょうぶ乙女会

【那加三地区】

歳末行事の周知をきっかけに、十人程のお茶飲み会からはじまりました。

毎月一回、食事をしながら、テーマを決めて楽しくおしゃべりをして交流します。

男性の参加も大歓迎です。



だいじょうぶ乙女会

あなたの会費が身近な活動に！

参加者や多くの地域住民に社協会費が活用されている事を「のぼり旗」により周知しています。見かけたらお気軽にご参加ください。



点訳ボランティア養成講座 受講生募集

点字は視覚障がいのある方への大切な情報伝達手段の一つです。文字を点字に訳すことを基礎から学び、ボランティア活動につなげます。

「点字に興味がある」「ボランティアをしてみたい」など興味のある方、覚えたいと思ってみえる方の受講生大募集です。

- **日時** 10月1日から2月4日までの毎週月曜日 全15回
午前9時30分から11時30分まで
(10月8日、12月24日、31日、1月14日を除く)
- **場所** 総合福祉会館3階 研修室
- **受講料** 1,000円 (テキスト代含む)
- **対象** 視覚障がいに理解があり、修了後に継続してボランティア活動ができる方
- **定員** 20名
- **詳細** 各務原市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL (058) 383-7610



テキスト「初めての点訳」を使用し、初歩から丁寧に指導します。受講生は、理解できるまで質問し学習できます。

音訳ボランティア養成講座 受講生募集

視覚障がいのある方に対し、広報紙や図書等の活字の情報を、わかりやすく音声で伝える音訳ボランティアを養成する講座です。

- **日時** 9月11日から12月18日までの毎週火曜日 全15回
午前9時30分から11時30分まで
- **場所** 総合福祉会館3階 集会室
- **受講料** 1,000円 (テキスト代含む)
- **対象** 視覚障がいに理解があり、修了後に継続してボランティア活動ができる方
- **定員** 20名
- **詳細** 各務原市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL (058) 383-7610



ご存知ですか? 声のおたより

視覚に障がいのある方や加齢やさまざまな障がいにより読むことが苦手な方などに、各務原市の情報(市の広報や社協かかみがはら)を声の広報(音訳CD)にして無料でお届けいたします。お気軽にお申込みください。

- **お問い合わせ先** 各務原市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL (058) 383-7610

クイズ

こたえは紙面に!!

福祉フェスティバル2018は9月○日に開催します。○に入る数字は?

はがきに問題の答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記してご応募ください(平成30年8月17日必着)。正解者の中から抽選で10名様に市内授産製品を進呈いたします。

宛先

各務原市社会福祉協議会 こたえは紙面に!!係 まで
〒504-0912 各務原市那加桜町2-163

5月号の答え
おもちゃ病院カワセミ

平成30年5月15日発行173号では12通の応募がありました。
ご応募ありがとうございました。

各務原市福祉フェスティバル2018開催のお知らせ

- 日時：9月2日（日） 午前9時から午後3時まで
- 会場：各務原市民会館・中央ライフデザインセンター一帯

福祉・介護団体等による活動紹介や模擬店など多数出店いたします。
お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

- ・介護ロボットも来るよ！
- ・「小学生将棋大会」開催
- ・映画会「怪盗グルーのミニオン大脱走」を上映



手話体験



盲導犬体験

パートヘルパー職員募集

- 募集人員 若干名
- 勤務時間 月曜日から日曜日の、午前8時30分から午後5時15分までのシフトに定める時間
- 勤務内容 生活援助、身体介護
- 給 与 生活援助：時給 950円+活動費(1件200円)+交通費
身体介護：時給1,350円+活動費(1件200円)+交通費(土日等、割増しあり)
- 応募要件 普通自動車運転免許および旧ヘルパー2級、介護福祉士、介護職員初任者研修修了者のいずれかを所持する方
- その他 年数に応じて昇給あり

嘱託ケアマネジャー募集

- 募集人員 1名
- 勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで
- 休 日 土日祝日、年末年始(12月29日から1月3日まで)
- 給 与 月額 178,600円(通勤費、賞与、退職金あり)
- 応募要件 介護支援専門員および普通自動車運転免許を所持する方
- その他 年数に応じて昇給あり

【申込み】社会福祉協議会 地域福祉課 電話番号 (058) 383-7610

4月2日にあすかホールで行われた、「新就職者激励の集い」に参加し、落語を聞きました。私は落語を生で聞く事が初めてでしたがとても面白く、今度は自分で公演を見に行こうと決め先日チケットを取りました。

私と落語の出会いのよう偶然の出会いから始まる関わりが多いと思うので、すべての関わりを大切に毎日過ごしていきたいです。

(細野 誠)



ひとりごと

善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました

(敬称略・順不同)平成30年4月1日～平成30年5月31日

戸大建設工業(株)	25,000円
各務原カラオケ同好会	15,852円
浜見駐輪会	30,000円
波多野 耕三	9,000円
匿名	6,631円
鵜沼地区歌謡教室	51,209円
チャリティ合同発表会実行委員会	
世界平和統一家庭連合	23,783円
各務原家庭教会	
各務原南町郵便局周辺の皆さん	古切手
ボランティアハウスお茶の間Ⅱ	古切手
(株)忠功	古切手
各務原市民生委員児童委員協議会	古切手
犬飼 寿美子	古切手
匿名	古切手
夢屋各務原店	お菓子
匿名	玄米60kg
(株)ダイナム	DVD・マグカップ・おもちゃ
J A ぎふ女性部各務原ブロック	タオル560本



この広報紙には、赤い羽根共同募金が使われています。

各務原の福祉活動が見れます！

各務原市社協FB

検索

